

ふるさと 再発見 (17)

ずっと一緒にいようね

『願いのかなう鍵』

(伊良湖町)



願いを込めてかけられた「鍵」と「恋人の聖地モニュメント」

皆さんご存じですか？伊良湖にこんなモニュメントがあるのを。

ここ恋路ヶ浜は、4つの「日本の100選」に選ばれています。傍らを通る渥美サイクリングロードが「日本の道100選」に、白い砂浜が「日本の渚100選」に、また、松林の続く風景が「日本の白砂青松100選」に、潮騒の音が「日本の音風景100選」に、それぞれ選ばれていて、それを記念して日本の100選記念モニュメントが、海岸線を背景に建っています。



恋路ヶ浜駐車場に建つ「日本の100選」記念モニュメント

住み慣れた、見慣れたまちでも「道、砂浜、山、潮騒の音」を観察、感じながら歩いてみると、普段気付かない、新しいふるさとの発見があるかもしれません。

恋路ヶ浜は伊良湖岬灯台とともに、恋人たちのプロポーズにふさわしいスポットとして、2006年7月1日、「恋人の聖地」に選定されました。

その恋路ヶ浜の恋人の聖地モニュメントの傍らに『願いのかなう鍵』があります。

「椰子の実」の歌詞にある「遠き島」を石垣島にみたくて、毎年石垣島からプレートをつけた椰子の実を流す試みがなされてきました。そして、2001年8月3日、14年目に初めて、渥美半島の浜辺に椰子の実の漂着が確認されました。このことを記念して、この地を訪れた人々の願いがかなうようにと恋路ヶ浜駐車場横に設置されたのが『願いのかなう鍵』です。

「ずっと一緒にいようね」「幸せになれるように」などのメッセージを添えて、カップルたちが思い思いに願いを込めて、鍵をかけています。

カップルの気持ちが伝わり、思わずほほ笑んでしまいます。ぜひ一度ごらんになってください。

田原市観光協会のホームページにも紹介されています。
<http://www.taharakankou.gr.jp/>

議会

春夏秋冬

温暖化や爆発的人口増加が進み、地球規模で考えると、二十一世紀は間違いなく食料と環境の時代と言われる。

日本では、農村の多くが高齢化の進行と人口の減少により、活力が低下し、地域社会の維持が困難となる集落も見られるようになった。一方、農業・農村に対する期待は高まっており、良質な食料の安定的供給、国土や環境の保全、文化の伝承などの多面的機能を担っている農業・農村の役割に大きな価値を見出す動きが近年出てきている。

新農業基本法では、環境保全を強く取り上げその大切さを盛りこんでいる。

四大文明の一つメソポタミア文明は組織的な農耕が行われ、文明を作り上げてきた。しかし、農地が使えなくなり文明は衰退した。この原因の一つは、大切な水、川の水をだめにしてしまったからではないだろうか。

田原市への「豊川の水」の恵みから感謝をし、使った水はきれいに海に返したいと思っている。(T・S)